

前回の全体会、農業部会の主な意見

●6月4日 産業振興審議会全体会の主な意見	対応
(1)みやぎの豊かな食を国内だけでなくインバウンドや「世界に向けた視点」や「流通の視点」が必要。	施策1-②、施策2-①、②
(2)「農業高校」で育成した人材の活躍や新規就農者が参入しやすい農業の推進が必要。	施策5-①、③
(3)「利益率の高い」、「コストパフォーマンスの良い」農業など「持続的な経営」の実現が必要。	施策5-①、施策6-①
(4)儲ける農業に向けて今後の生産構造(水稻、畜産、園芸の産出額の割合)を戦略的に検討することが必要。	主要目標の見直し
(5)次期計画策定に向け農業分野における「生物多様性の推進」を検討することが必要。	施策4
(6)農村に人が来てもらえるような施策や「鳥獣被害対策」の強化が必要。	施策11-②、施策13-①
(7)県産農産物の購入するメリットをわかりやすく伝えてPRが必要。	施策4-①
●6月13日 産業振興審議会農業部会の主な意見	対応
(8)主要目標は、「個別経営体が減少」することは明らかなので、「減少することを踏まえた見直し」が必要。	主要目標の見直し
(9)スマート農業の推進と併せてスマート農業導入による「経営への効果分析」も必要。	施策6-①
(10)農村の維持・活性化という視点では「中小規模の農家や中山間地域への支援」も必要。	施策6-①、施策7-②、 施策9-③、施策14-②
(11)若い人が農業や農村に興味を持つきっかけは多様。農業っぽくない活動で農業につながる機会が必要。	施策1-①、施策11-②、③
(12)露地園芸での「加工業務用野菜」の取組において戦略的な推進が必要。	施策9-②、④、施策8-③
(13)田んぼダムや排水機場が果たす地域への防災・減災の貢献度をPRすることが必要。	施策14-①、施策15-②
(14)昨今の世界情勢等を踏まえ、「食料安全保障」を食農計画に取り入れることが必要。	県では食料安定供給に向けて各種施策を推進しているが、計画には明記していなかったため、今後の方向性を示す「農業」の将来像に記載。
(15)計画は抜本的に変える必要はないが、人が減ることを見据えて補強することが必要。	主要目標の見直し